

沖縄の湧き水

1 講座の内容

沖縄県内の湧き水の数、現在の状況、歴史や文化、湧き水に関する自然や環境についてわかりやすく解説する。最近気になる災害時における湧き水の重要性について、また、世界共通の湧き水文化についても考察する。

2 講座の概要

- (1) 講師 ぐし ともこ氏 (湧き水fun倶楽部代表)
- (2) 日時 令和3年11月24日(水) 14:00~16:00
- (3) 場所 本会場: 南部合同庁舎4階 生涯学習推進センター会議室
サテライト会場: 各教育事務所(国頭、中頭、島尻、宮古、八重山)
※特別サテライト会場: 多良間村
- (4) 受講者数 74人(PC視聴者含む)
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開会のあいさつ
 - ・講師紹介
 - ・講話
 - ・閉会のあいさつ



3 成果

- ・防災意識の高まりに合わせて、湧き水は関心を呼ぶテーマとなった。県内に1000以上の湧き水があること、身近で生活用水として用されていたことなど、災害時の参考にもなる講座内容であった。
- ・自然、環境、歴史、文化、防災の面から多角的に湧き水を説明して興味深かった。
- ・実際に湧き水現地を訪れた講師の話はわかりやすかった。
- ・ビジュアル資料で説明され、理解しやすかった。

4 課題

- ・本会場で欠席者が8名おり、やや多い。ある程度、欠席者を見込んで定員数を設定するなど工夫が必要。
- ・健康報告で受付が混雑するので、自宅で検温を推奨するなど検討が必要。